

受験勉強本格スタート！！

多くの三年生にとって6月は、県総体を終え部活動を引退し、いよいよ入試にむけて本格的に取り組みはじめる時期です。しっかりと切り替えができていますでしょうか。猛勉強している人もいれば、部活動をしていたときと変わらない生活を送っているという人もいます。時間は待ってくれません。さほど遠くない未来、「受験日」という運命の日は確実にやって来ます。今やるべきことは何なのかをよく見極め、後悔がないように過ごしたいものです。



1 基礎力養成期

受験生の4～6月は「基礎力養成期」にあたります。自分の実力を客観的にみつめ、これまでの学習事項で理解が不十分な箇所を把握し、弱点克服を進めながら、確実に理解を深めていくという大切な時期です。十分な成果が得られたでしょうか。6月は、「進研マーク模試」「全国統一高校生テスト」「校内実力考査」そして「期末考査」と多くの試験が実施されました。その都度きちんと復習がなされていれば、確実に弱点は克服されていると思います。6月13日に行われた進路セミナーの中で、国公立大学受験対策講座を担当された九州大学の熊埜御堂さんも、「受験勉強の中で一番大事にしていたのは復習である」とおっしゃっていました。また、先月の羅針盤では試験後の訂正についてのアドバイスもありました。期末考査の答案が返ってきた後、どう対応するかで今後の成績が大きく変わってきます。自分の弱点を見つめ、どのようにして克服するのか具体的に考えてみましょう。

2 基礎力完成期

夏休みは「基礎力完成期」です。3年生にとっては基礎を復習する最後のチャンスです。苦手にじっくりと向き合い、学習に取り組み、将来の夢に一步でも近

づけるように努力していきましょう。「夏を制するものは受験を制す」「夏休みは受験の天王山」とはよく言われます。受験の天王山に登る受験生を「大学入試センター」を受験する人だと仮定すると、年間約55万人が天王山を乗り越えています。富士山の年間の登山者は約20万人です。そう考えると、受験の山は比較的登りやすい山なのではないでしょうか。多くの人々が挑戦してきた山だと言えるのではないのでしょうか。最後まで諦めず、ぜひ登り切ってください。頂上には第一志望合格という素晴らしい眺望が待っています。一生に一度見られるかどうかの眺望。見られるかどうかはあなたの努力次第。見てみたいですね？



評定平均値を意識する

評定平均値とは全科目の5段階評価の平均値です。四捨五入して小数点以下第1位まで求めます。11月までに実施される入試は、高校1年から3年1学期の仮評定まで、12月以降に実施される入試では3年2学期までの成績が基準となります。計算式は以下のとおりです。

$$\text{評定平均値} = \frac{\text{1～3年までの全科目の5段階評価値の合計}}{\text{1～3年までの延べ科目数}}$$

この評定平均値が推薦入試や書類重視のAO入試を受験する場合に重要になります。入試の選抜方法の中に「書類審査」という項目が入っている場合、高校三年間の学習実績である評定平均値が評価の対象になります。評定を意識して日々学業に勤しめば、受験の際に有利になります。3年生は5月の中間考査と6月の期末考査の結果をもとに1学期の仮評定がつきます。国公立大学の推薦入試の場合は4.3以上、私立の大学・短大・専門学校の指定校推薦を受験する場合は3.5

～4.0が目安になります。(各学校によって基準は異なりますので、各自で情報収集をしてください。)1学期の結果は今後の進路決定に活かせるものになっているでしょうか。

実績を積む

みなさんの高校生活の中で、成績以外にも実績として評価される活動は多々あります。出席の状況や生徒会活動、部活動、ボランティア活動、そして資格・検定試験などへの積極的な挑戦が総合的な人物評価の重要な項目になっています。その中で、1、2年生に注目して欲しいのは資格・検定試験です。6～7月にかけて校内では様々な検定が実施されています。「英語検定」「漢字検定」「情報技術検定」「ビジネス文書実務検定」、そして電気科で実施される「計算技術検定」などです。これらの検定は言わば短期的な目標です。1～2ヶ月の学習ですぐに結果が出る取り組みやすい目標です。しかし、何度も挑戦するうちに、いつの間にか基礎力だけではなく、学習習慣が身につく、目標達成の喜びを知る良い経験になります。この短期目標の達成



が大きな目標を達成するための「きっかけ」になっていくと思います。「着眼大局着手小局」と言われるように、大きな進路目標を達成するために、まず小さなハードルを設けてそれを飛び越える練習を

していきましょう。1、2年生は様々な検定にぜひ積極的に挑戦してみてください。

オープンキャンパスへの参加

期末考査を終え、そろそろ夏休みの過ごし方を考え始めているのではないのでしょうか。計画の中に「オープンキャンパス」への参加も検討してみてください。志望校の特徴も分かりますし、何と云っても受験したい!というモチベーションが上がります。オープンキ

ャンパスの内容は学校によってさまざま。ここでは代表的な内容を紹介しておきます。

(以下「さんぼう進学ネット」より抜粋)

1 キャンパスツアー

まずは自分の目で確かめよう

学内の施設や設備を見学するのがキャンパスツアー。ガイド役は在校生というケースも多く、ふだんは部外者が入れない施設を公開するところもあります。学年によってキャンパスが異なる場合は、両方見ておきましょう。

2 学校説明会

一足お先に最新情報をキャッチ!

教育方針やカリキュラム、設置学科、授業内容、取得資格、就職状況、留学、入試方法などについて説明があります。学校紹介ビデオなども上映され、よりビジュアル的にその学校や学科のアウトラインをつかむことも可能。

入試説明会では、一般公表よりも一足早く、学科編成や入試方法の変更などの情報を教えてくれるところもあり、見逃せません。多くの学校では、学校案内書のほかに、過去の入試問題集や願書などを無料配布しているので、必要な資料はこの機会にしっかりゲット!入試問題の傾向や対策まで解説する場合もあるので、受験勉強に有効に活用しましょう。

3 個別面談

小さな疑問もすっきり解決!

全体的な説明では分からないことや、個人的な質問に答えてくれます。せっかく参加したのだから、少しでも疑問に思う点や不安なことなど何でも気軽に相談しましょう!教職員によるものや、在校生によるものなどがあります。

4 AO入試

自分をアピールするチャンス!

オープンキャンパスでAO入試の面接を実施する学校もあります。面接日が別の日に設定されている場合は直接合否が決まるわけではありませんが、この機会にぜひ参加しておきましょう。リハーサルになって、本番も心強いはず!

3年生だけでなく1・2年生も、夏休みを使って自分の進路についてしっかり考えてくださいね。